

龍江地域振興委員会だより

H31.3.13

長野県地域発元気づくり支援金事業

2018年度飯田市（龍江地区）農村起業家育成スクール 成果発表会開催される

曾根原久司 氏（総務省地域力創造アドバイザー）の指導を受けた受講生 10 名による成果発表会が、3月9日（土）龍江公民館講堂において開催された。

昨年7月にスタートした本スクールは、7回（14日間）の講義を実施し本発表に至った。（講師の曾根原氏も言っているが、）毎回猛烈な宿題が出され、それをクリアーするために並々ならぬ努力をされたと聞く。

当日は、牧野飯田市長はじめ、龍江、近隣地区を中心に113名（内 龍江地区59名）の参加をいただき、受講生の起業プランに熱心に聞き入った。

若い世代の豊かな発想・感性とエネルギー 地域資源を新たな視点で問い直した事業化プランに共感

発表は、一人持ち時間10分という短時間であったが、起業の視点や道筋など一人一人の理念が明確で、生産から販売までのフローチャートが示され、さらに収支の見通しまで持った提案であった。中でも、今まで生産だけに特化されがちであった農業を、新たに都市部の企業と手を組み、販売までを見越した（農業等の）事業化は、これからの中山間地域（龍江地区）の一つの指針となりそうである。また、（アンケートによくあらわれているが）若いエネルギーに満ちあふれ、人にはない Only One を目指す心意気が小気味よく、頼もしさを感じた。



発表する 吉澤 剛さん

その、10人の発表者と事業名（発表テーマ）は以下のとおりです。

	発表者	事業名
1	沢柳幸弘（龍江）	Road to Enoki Forestry 挑戦し続ける企業へ
2	吉澤英喜（龍江）	天竜峡桜街道（シャルルヴィル・メジェール通り）思伊出桜で花見酒を
3	木下昭則（龍江）	日本一のナッツ生産農家になる為に
4	平澤 健（龍江）	南信州古道歩き
5	松尾明則（龍江）	贈ってうれしい、もらってうれしい 龍江の紅白りんご
6	吉澤 剛（龍江）	天竜峡ファンクラブ用アプリ「テンキチ」
7	原 豊（下久堅）	和紙作業を通じての心の洗浄「南信州和紙瞑想」
8	齊藤洋介（下久堅）	現代版家守を飯田に復活！「タイムトラベルする空き家」で 古くて新しい町づくり構想
9	上原祐二（千代）	わたしが里山の棚田で育てた世界に一つのお酒 YOKONE純My酒
10	渡邊捷揮（三穂）	小笠原書院で着付けして、自撮りして、ちょっと気取っちゃおう「KIDORI」

<アンケートから 抜粋> <成果発表会にかかわって>

- ・龍江地域を中心に様々な計画があり、非常に勉強になった。共感したことは、地域を盛り上げていきたいという発表者の思いです。事業は異なっても思いは同じで、私もどこかで携わって生きたいと思いました。次回も参加したいと思います。(地区外 20代男性)
- ・想いや考えを生のことばで聞けてよかった。これらの考えを実現するために地域づくり委員会がサポートしてほしい。(龍江 30代男性)
- ・地域の課題をとらえ、地域の宝をビジネスとして成立できるプランが具体的に考えられていて、非常に参考になった。実現できるような支援協力体制を、地域として形作っていく必要性を感じた。(鼎 40代男性)
- ・マーケット、予算まで組み立てできていて、どれもすばらしかった。(龍江 50代男性)
- ・どれもすばらしい。地域おこしの方々のプレゼンは見事であった。地域が元気になるし、実現性は高いと思う。(龍江 50代男性)
- ・地域を巻き込んだ起業の提言に納得し、応援したくなった。(龍江 60代男性)
- ・本スクールの熱心な姿を感じた。10年間の間に35名の起業家を目ざしている姿を見つめていきたい。収支計画もあり、今後の努力に期待する。(下久堅 70代男性)

夢と勇気をありがとう



若い起業家を支えよう

曾根原先生を中心に発表者・主催者が、開墾「もりもり」

<曾根原先生の講演も含めて感想と、中山間地域の将来について>

- ・各地域に眠っている資源と、消費者のニーズを適切にマッチングさせる必要があるという先生の話があったが、とても共感した。ビジネスとして成立させるためには、地域・行政・民間企業が協力してマッチングしていくことが大事だと思った。(地区外 20代男性)
- ・発表者の方の想いを大切に、地域とつなぐ協力・支援、このことをしっかり地区内に報告し、風を起こす(ことが大切)。(龍江 40代男性)
- ・これから各地区を背負っていく若者を育てる事の重要性を改めて実感した。(南信州地域振興局)
- ・中山間地内にある宝に自分を含めほとんどの住民が気付かずにいる。発表者10人のプランも含めて推進力になるリーダーシップが必要と感じる。(上久堅 60代男性)

(文責 振興委員会副委員長 窪田正典)